

関東学生柔道連盟所属会員の皆様へ

関東学生柔道連盟

会長 小 俣 幸 嗣

昨年の年頭から始まった新型コロナウイルスの感染は、今でも拡大が止まらず危機的状況が続いています。この間、学生の皆さんは学生生活、柔道活動の制限を通じて、未だ経験したことのない厳しく辛い生活を余儀なくされたことと推察します。皆さんの不安や孤独を想像しますと同情を禁じ得ません。

その後、国内外において色々なスポーツ活動が中止あるいは縮小される中で、本連盟も全日本柔道連盟、全日本学生柔道連盟などとの連携を図りながら、予定の事業を継続できるよう努力して参りました。しかし振り返ると、全ての事業が中止という不本意な形で終わったことは、世の中の止むを得ない事情によるものではありますが、大変残念であり支援する側として申し訳なく思っております。

特に大学生活の総括として準備していた四年生には、かける言葉も見つからないのが率直なところです。しかし、皆さんは春には新しい世界に羽ばたかなくてはなりません。どうか自分を見失うことなく、忍耐と寛容の精神を持って前進されまことをお祈り致します。

今後の状況は予断を許しませんが、在学生の皆さんには、このような困難な状況に耐え、これを機に一步一步慎重に進む行動力を培っていただくよう希望します。次年度は科学的合理性に基づき、十分な安全対策を講じながら活動して行くことになりますので、不便は避けられませんがご理解とご協力をお願い致します。

来るべき新たな夜明けに向かって共に邁進して参りましょう。